



2024年度 JICA東京・JICA北陸共同開催

# JICA ジャイカ 教師海外研修

## ■募集要項■

### 対象教員

東京都、埼玉県、千葉県、群馬県、新潟県、長野県の学校に勤務する教職員および教育委員会指導主事

### 海外研修国

パラグアイ・バングラデシュ

### 主催

独立行政法人国際協力機構（JICA）東京センター・北陸センター

### 後援（一部予定を含む）

外務省、文部科学省、東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、一般社団法人埼玉県私立中学高等学校協会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、一般社団法人千葉県私立中学高等学校協会、群馬県教育委員会、群馬県私立小・中・高等学校協会、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県私立中学高等学校協会、長野県教育委員会、公益社団法人長野県私学教育協会

応募締切

2024年5月8日（水）

※詳細は次ページ以降

## 以下、必ずご確認のうえ応募してください。

本募集要項は、JICA東京管轄地域（東京・埼玉・千葉・群馬・新潟・長野）に学校がある方に向けたものです。JICA北陸管轄地域（石川県・富山県・福井県）に学校がある方は、JICA北陸ホームページをご確認ください。  
※JICA北陸の募集情報は2024年4月中に掲載予定です  
<https://www.jica.go.jp/Resource/hokuriku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>

### 1 背景

国際協力機構（JICA）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関であり、約150の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、「教員向け研修」「教員向けセミナー」「エッセイコンテスト」「施設訪問」「出前講座」「開発教育メールマガジン」「開発教育教材作成」など、開発教育/国際理解教育を支援する様々な事業を行っています。

本研修は上記開発教育支援事業の一環として、開発教育/国際理解教育の実践と推進に意欲のある教職員および教育行政関係者を対象に実施するものです。

### 2 研修の目的

誰もが安心して暮らせる「だれ一人取り残さない」社会づくりに関わる問題は、世界でも、地域でも、そして学校でも共通する課題です。本研修は、開発途上国の現状や国際協力の現状について、実際に途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで、開発教育/国際理解教育の意義について理解を深め、継続的に開発教育/国際理解教育の実践を行うことを目的としています。また、研修参加者や地域の学校教育関係者との意見交換や知見の共有を通して、研修終了後も継続してさらなる開発教育/国際理解教育の推進を図ることも目的としています。

### 3 主催

独立行政法人国際協力機構（JICA）東京センター・北陸センター

### 4 後援（一部予定を含む）

外務省、文部科学省 東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、一般社団法人埼玉県私立中学高等学校協会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、一般社団法人千葉県私立中学高等学校協会、群馬県教育委員会、群馬県私立小・中・高等学校協会、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県私立中学高等学校協会、長野県教育委員会、公益社団法人長野県私学教育協会

### 5 研修国・募集人数

パラグアイ 12名、 バングラデシュ 12名

### 6 応募スケジュール

応募締切：5月 8日（水） 23：59（応募用紙メール提出）

一次選考（書類審査）：5月9日（木）～5月22日（水）

二次選考（面接）：5月23（木）、24（金）、27日（月）（TEAMSでのオンライン面接）

### 7 研修課題（予定）

- （1）海外研修報告書（A4の所定書式に2-3ページ程度）
- （2）学習指導案・授業実践報告書（A4の所定書式に6～10ページ程度）

いずれも、研修参加者、JICA関係者および教育委員会に提出予定。またこの他に事前研修課題、海外研修前課題、事後研修課題等がある。

## 8 応募資格・参加要件

※以下すべてを満たす方

### 【応募資格】

- (1) 東京都、埼玉県、千葉県、群馬県、新潟県、長野県、石川県、富山県、福井県の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教員および教育委員会指導主事であること。
- (2) 応募締切時点で満一年以上の教員経験を有すること。
- (3) 本研修の趣旨・目的を十分理解し、上記研修プログラムに全日程参加可能であること。また、所属する学校の校長より研修参加の推薦があり、実践授業の実施およびその公開を承諾していること。
- (4) 派遣国の事情（道路状況や衛生環境等）を勘案した上で、全研修行程に参加するに耐えうる健康状態であること（持病を持っていない事、継続的な投薬・治療を行っていない等）。
- (5) 過去に、本研修、JICA海外協力隊、JICA専門家、ODA民間モニター、国際協力レポーター、JICAパートナーシップセミナー等機構の事業にて海外に派遣された経験がないこと。また、それらの事業へ応募中でないこと。

### 【参加要件】

- (1) 国内研修及び海外研修の全行程に参加可能であること。
- (2) 参加年度およびその翌年度、教師海外研修での学びを還元する教育活動に取り組むこと。
- (3) メールアドレスでの連絡が可能なこと。オンライン会議を用いた研修実施に対応可能であること（Wi-Fi環境、PC等）。
- (4) 教材・実践授業について報告書を提出すること。またそれがJICAのウェブサイトにて一般公開されることに同意すること。
- (5) JICA国内拠点や各県所在の国際協力推進員等と連携・協力しながら、開発教育／国際理解教育の普及促進に貢献する意欲があること。

## 9 経費負担

本研修にかかる経費のJICAと参加者個人それぞれの負担は次のとおりとする。

- (1) JICA負担
  - ア 日本国内で実施する研修・報告会等および空港までの交通費
  - イ 国内プログラムに伴う宿泊費（JICA規定に基づく対象者のみ。日当は除く）
  - ウ 研修講師謝金
  - エ 航空券代（含トランジットの際の宿泊費）
  - オ 査証料、空港使用税のみ
  - カ 国際協力現場の視察に必要な交通費及び入場料
  - キ 国際協力友の会（海外旅行保険）加入費
- (2) 参加者負担（為替にもよるが、15万円～20万円程）
  - ア 飲食費
  - イ 海外研修中の現地宿泊費
  - ウ パスポート取得費用
  - エ 予防接種代
  - オ 文化施設・自然公園等の入場料
  - カ 追加保険の加入費用等（必要に応じて）

## 10 外部アドバイザー（予定）

- ・佐藤 真久氏（東京都市大学 環境学部 教授）
- ・白水 始氏（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 副部長・総括研究官）
- ・畑 文子氏（一般社団法人 教育環境デザイン研究所 研究員）



## 1.1 スケジュールおよびプログラム概要

※予定（内容や時間は変更になる場合があります）

日程	プログラム	内容
6月～出発前	校長面談（オンライン）	・ JICAから学校長に本研修について説明
6月29日-30日（土日） （終日）	事前研修（対面） 会場：JICA東京センター	・ 研修の目的とプログラム全体の流れ ・ 国際協力の現状と課題、訪問国事情、渡航について等 ・ 授業、教材協同チームでの打合せ
7月26日（金） 羽田/成田発 8月10日（土） 羽田/成田着	海外研修 派遣国 パラグアイ	【二か国共通・両国とも簡易通訳あり】 ・ JICA事務所、国際協力プロジェクト等の現場訪問 ・ JICA海外協力隊・国際協力関係者の活動視察 ・ 学校見学、教育関係者との意見交換 ・ 現地の都心部・農村部、経済・社会・環境・文化等 SDGsの視点から
8月4日（日） 羽田/成田発 8月14日（水） 羽田/成田着	海外研修 派遣国 バングラデシュ	【パラグアイのみ】 ・ 日系移住地訪問  ※飛行機は深夜便、早朝便の可能性もあります。 ※飛行機の手配は参加者決定後となるため、発着日が変更する場合があります（左記期間内での変更を想定）
8月21日（水）	海外研修報告書提出	海外研修での学びを踏まえ、各自で作成
8月24日-25日（土日） （終日）	事後研修（対面） 会場：JICA東京センター	2学期授業に向けての準備 （授業・教材協同チームでの授業づくり）
9月の平日夜・土日	授業内容検討会議 会場：各自オンライン会議に参加できる場所より	オンラインにて参加者決定後に日程調整し、授業・教材チームで共創する授業について、参加者同士で共有し、磨き上げます
9月～12月（2学期）	所属校での授業実践	
2024年12月～ 2025年3月	地域ごとの報告会	研修での学び、授業実践を地域でシェア 開発教育の推進についての意見交換など
2025年1月5日（日）	学習指導案・授業実践報告書提出	授業実践および派遣後研修を踏まえて実践報告書を提出
2025年2月15日（土）	総括研修 会場：JICA東京センター	研修での学び、授業活動、自身の変容を振り返る
2025年2月16日（日）	合同報告会 会場：JICA東京センター	参加者合同で研修での学び、授業実践をシェア。開発教育の推進についての意見交換など

## 1 2 応募方法・締切

ホームページより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入（学校長の署名or公印も）の上、下記メールアドレスに送付

【ホームページ】

<https://www.jica.go.jp/domestic/tokyo/activities/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>

- ・ 応募用紙(1)…**エクセルファイルのまま**ご提出ください。
- ・ 応募用紙(2)…必要事項を記載のうえ、公印または学校長の署名をいただいたものをPDFでご提出ください。

【送付先】 jicajgp-kyoiku@jica.go.jp JICA東京 教師海外研修 運営事務局

## 締切：2024年5月8日（水）23：59

※ZIPファイルはセキュリティ上受信できませんのでご注意ください。

※ご提出いただきましたら返信メールをお送りしますので、3日経っても返信がなかったらご連絡ください。

## 1 3 その他

- ・ 参加者の研修中の扱い（年休／研修（職専免））については所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
  - ・ 本研修ではJICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加の場合は、各所属先の責任において参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
  - ・ 申込書に虚偽の記載内容が含まれている場合は、選考後でも参加資格が取り消しになる場合があります。また、他の参加者に迷惑をかける、あるいは決められた活動に参加する意志がないと判断される方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。海外研修中に資格を失った場合は、移動・滞在費などにかかるキャンセル料等、および帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。
  - ・ 本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、ご協力をお願いいたします。
  - ・ 個人情報に関するお願い
- ※応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。
- <https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm>
- ・ 学校教育を支援する取組として、雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等に研修参加者の皆様のご協力をいただいております。また、研修参加者の皆様に研修やイベント参加の情報提供を行っています。
  - ・ 参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組について、またJICAの開発教育/国際理解教育事業及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、後日アンケートを実施しますので回答へのご協力をお願いします。

## 問合せ先

JICA東京 教師海外研修 運営事務局

E-mail : jicajgp-kyoiku@jica.go.jp